

# 第 1 回 富士見市総合計画等審議会

## 議事録

<b>日 時</b>	令和 6 年 1 1 月 2 1 日 (木)	開会	午後 6 時 4 0 分	閉会	午後 8 時 0 0 分	
<b>場 所</b>	富士見市役所 1 階 全員協議会室					
<b>出 席 者</b>	委 員	鏡会長	志摩副会長	赤羽委員	朝賀委員	市川委員
		○	○	○	○	○
		小野寺委員	小池委員	木幡委員	関口委員	関谷委員
		○	○	○	○	○
		出谷委員	堀端委員	山本委員	吉原委員	
		—	○	○	○	
	事務局	政策財務部 水口部長 政策企画課 荒田課長、川村副課長、新井主査、須堯主任				
<b>公 開 ・ 非 公 開</b>	公開 (傍聴者 0 名)					
<b>議 題</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 委員紹介</li> <li>4 会長及び副会長の選出</li> <li>5 諮 問</li> <li>6 議 事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 富士見市総合計画等審議会について</li> <li>(2) 富士見市第 6 次基本構想・第 2 期基本計画策定方針について</li> </ol> </li> <li>7 その他</li> <li>8 閉 会</li> </ol>					

## 議 事 内 容 ( 要 旨 )

1 開 会 政策企画課長

2 あいさつ 星野市長

3 委員紹介 各委員

4 会長及び副会長の選出

互選の結果、会長は鏡委員、副会長は志摩委員に決定

5 諮 問

市長より鏡会長に諮問

6 議 事 鏡会長 進行

(1) 富士見市総合計画等審議会について

事務局：(総合計画等審議会の役割等について「資料1 総合計画等審議会について」を用いて説明)

会 長：事務局の説明にもあったように、自治体ではPDCAサイクルに基づいた計画の進捗管理を行っている。P (Plan) として計画を策定し、D (Do) にて事業を実施していることは委員もご存じかと思うが、C (Check) として進捗を評価し、課題や問題があれば、A (Action) において、改善を行い進めていくというサイクルを回している。富士見市においては、第6次基本構想・第1期基本計画からロジックモデルを取り入れることなどにより、計画の進捗管理を熱心に行っている。

委 員：計画冊子 31 ページにある関連計画等に記載されている計画については、市ホームページなどで確認することはできるのか。

事務局：市ホームページの各種計画ページにおいて、基本計画分野別に個別計画を掲載しているので、必要に応じてご覧いただきたい。

(2) 富士見市第6次基本構想・第2期基本計画策定方針について

事務局：(第2期基本計画策定方針について「資料2 第2期基本計画策定方針」を用いて説明)

委 員：今年の9月に大阪公立大学が発表した人口減少の要因分析に関する論文において、都市の規模に応じた人口減少への効果的な政策が示されており、政令指定都市や中核都市ではクリエイティブ産業、富士見市

を含むその他の都市では財政力指数などが人口変化率と相関が高くなっている。特に、教育などに注力すれば人口が増加し、結果として財政力指数が高まるということであり、このような取組も計画に盛り込んでいただきたい。

会 長：日本全国での人口減少というのは避けられないかもしれないが、自治体においては魅力のあるまちをつくり、他市町から人口を流入させることにより、そのスピードを若干遅らせることができると考える。また、少子化が進行し、出生数は70万人を割り込むような状況になっている。子どもが生まれない社会に対する対策の検討は、国が行うものだと思うが、その中で、富士見市では何ができるのかといった議論をしていく必要があると考える。

委 員：私は、音楽活動を通じて、自治体や大学などに関わっているが、子育て支援や教育に注力している自治体は、アーティストに対しても予算を多く確保していただいている印象がある。そのような自治体のイベントは環境も整っており、良いアーティストが集まることにより、人が集まってくるというのが顕著に現れている。富士見市では、「子育てするなら富士見市で」を掲げているが、富士見市で活動をするときに、予算は多くいただけていないと正直感じている。

会 長：富士見市も様々なイベントを実施しているが、市民ニーズと合致しない部分もあるのではないかと感じる。そのため、市の政策が市民ニーズとミスマッチを生まないように仕組みを作っていくことが必要だと考える。

事務局：策定方針にも記載したが、本市は本年5月に内閣府からSDGs未来都市として認定いただき、今後、人口が減少していく中においても、持続可能なまちづくりをしていくための取組を取りまとめたSDGs未来都市計画を策定した。

現在、市民や事業者、行政など、多くのステークホルダーで構成するSDGsフジミライテラスというプラットフォームを創設し、課題の検討に留まらず、皆で知恵を出し合いながら事業運営を進めていく取組を始めているところである。

会 長：行政だけではなく、市民や事業者も様々な活動を行っているため、うまくコラボレーションして、有機的なつながりができることにより、活動が広がっていくという連鎖ができるのではないと思う。従来型の行政だけが取り組むという形ではない点において、一歩進んだ枠組みであると思う。

委 員：自主財源の確保のイメージはどのようなものか。

事務局：自主財源のうち、一番大きいものは住民税や固定資産税といった市税である。住民税などを負担していただく市民の増加や企業誘致により、自主財源を確保していくことが大きいと考えている。

会 長：市民活動や経済活動が活性化された結果として、税収の増加が見込まれ、財源が豊かになっていくという意味だと考える。

委 員：市のイベントの実施にあたり、クラウドファンディングを取り入れるなど、世の中の時流に合わせて様々な取組をしていければ、財源の課題は解決できると考えるため、ぜひそういった取組も検討していただきたい。

事務局：財源確保の手段として、クラウドファンディングを活用していく必要があると考えている。先ほどのSDGsフジミライテラスにおける活動にあたり、クラウドファンディングや、寄附金などを集めていこうというような声も上がっており、今後も検討を進めていきたい。

会 長：税金だけで事業を実施するのではなく、意思のある方に資金を募って事業運営をしていくということは、大変重要な意見だと考える。

委 員：市民の増加や企業の誘致、商工業の発展といった自主財源を増やすための取組については、計画に記載されているのか。また、ふるさと納税については、三芳町は埼玉県内でも高い寄附額を集めているが、富士見市でも同じくらい集められるのではないかと思う。

事務局：企業誘致やふるさと納税についても計画に位置づけている。  
また、市としては、基本構想で掲げる理想の“未来”『充実した日々』と理想の“未来”の合言葉『みんな笑顔☆ふじみ』の実現を目指しており、そのためにも自主財源の確保は必要だと考えている。

委 員：昨今、経済状況や家族関係等において、厳しい状況の中で生活されている方が増加していることを実感している。  
また、学校教育の現場においても、不登校や学習についていけないなど、問題を抱えている児童生徒が増加しているという話も聞いている。これらを踏まえ、行政としての役割を考えると、このような問題に目を向けて、サポートをしていくことが重要だと考える。

事務局：貧困問題など、様々な課題が生じていることと認識している。  
本審議会は様々な見識をお持ちの方々に構成しているため、本日のように、各委員の立場からのご意見をいただき、より良い富士見市になるための計画策定に向けた審議をしていただきたいと思いますと考えている。

会 長：第1期基本計画策定後に、富士見市において自然災害が頻発したが、その対応を見たときに、もう少し違う視点があったら良かったのではないかと思うところがあったため、第2期基本計画においては、喫緊の課題について対応した計画策定をお願いしたい。

事務局：災害対策について、現在、本市においては災害拠点となる新庁舎整備を大きな目標としている。本市の地形の特徴として、新河岸川、荒川、柳瀬川という3本の川があるため、湧水という素晴らしい自然の恵みがある一方で、水害も多く発生しているのも事実である。水害対策として、砂川堀や新河岸川、荒川などの整備を実施しており、県や国にも要望するなど、引き続き対策を行っていききたい。

また、ふるさと納税については、現在、3,000万円程度の寄附をいただいております。大変貴重な財源として活用させていただいている。

しかしながら、富士見市民が他市町、あるいは自分の故郷へ行く寄附額が、3億円を超えている状況のため、流出超過額に対する交付税措置を踏まえた損益分岐点としては、1億円程度の寄附の受入れが必要となってくる。

そのため、3,000万円の寄附額を1億円までどのように伸ばしていくのかを検討するとともに、市内事業者やSDGsフジミライテラスの皆様から知恵を拝借し、様々な自主財源の確保にも、目を向けているところである。

第6次基本構想・第1基本計画の策定については、業務委託により策定している自治体が多い中、本市では委託をせずに、本審議会委員や市民の皆様の知恵やアイデアを結集して策定した経過がある。第2期基本計画についても、第1期基本計画をさらにブラッシュアップした計画として市民の皆様と一緒に策定していきたいと考えているため、皆様のお力添えが必要不可欠であることから、今後においても様々なアイデアを賜りたい。

## 7 その他

次回会議の日程調整の結果、令和7年1月21日（火）午後7時からに決定

## 8 閉 会 志摩副会長